

お知らせ

令和7年7月17日

課名	土木部監理課
担当	篠原、田上
内線	4115、4117
直通	086-226-7459

安全・安心おかやま 県土づくり推進大会 2025 及び要望活動を実施します！



本県における国土強靱化に向けた取組の一層の推進を図るため、次のとおり7月31日に大会を開催し、8月5日に関係各所への要望活動を実施する方向で調整していますので、お知らせします。

また、今後、要望活動の日程等が決定した際の連絡方法及び当日の取材に係る事前登録等につきましては、次のとおりとしますので、ご留意ください。

記

1 「安全・安心おかやま 県土づくり推進大会 2025」の概要

- ・日 時 令和7年7月31日（木）13:30～15:00
- ・場 所 アークホテル岡山 3階 牡丹の間（岡山市北区下石井2丁目6-1）

2 要望活動の概要

- ・日 時 令和7年8月5日（火）時間未定
- ・要望先 関係省庁等

3 取材の事前登録

当日の取材（大会・要望活動）を希望される場合は、次のとおり事前登録をお願いします。

なお、要望活動の日程・取材方法等については、直前まで要望先の調整が続くことが予想されるため、事前登録された報道機関に対して、メールにより連絡します。

○事前登録について ※メールにより登録してください。

(1) 登録事項

- ①報道機関名、②取材者氏名、③取材先(大会のみ・要望活動のみ・両方)
- ④同行人数(取材者以外)、⑤使用資機材の種類(カメラ、テレビカメラ)、
- ⑥取材者連絡先(確実に連絡が取れる電話番号及びメールアドレス)

(2) 報告期限

- ・令和7年7月29日（火）9:00まで

(3) 報告先

- ・土木部監理課施策推進班（担当）篠原、田上
- ・E-mail：suishintaikai2025@pref.okayama.lg.jp

4 その他

- ・推進大会の会場内にプレス席を設けております。
- ・要望活動先によっては、非公開となります。

安全・安心おかやま 県土づくり推進大会 2025 次第

日時：令和7（2025）年7月31日（木）13:30～15:00

場所：アークホテル岡山 3階 牡丹の間

主催：岡山県 岡山県議会 岡山市町村 岡山市町村議会

○ 議 事

1. 開 会

（国会議員の紹介）

2. 主催者挨拶

岡山県知事

岡山県議会議長

岡山市町村長代表

岡山市町村議会議長代表

3. 来賓挨拶

4. 来賓紹介

5. 祝電披露

6. 意見交換会

岡山市長会代表

岡山県町村会代表

7. 大会決議

岡山市町村長代表

8. ガンバロー三唱

岡山市町村長代表

9. 閉会挨拶

岡山市町村長代表

安全・安心な県土づくりに関する決議書（案）

本県においては、小田川をはじめ多くの河川が決壊した平成30年7月豪雨により、95名もの犠牲者、さらには全半壊9,100棟、床上浸水1,500棟に及ぶ住家被害など、多くの貴重な生命、財産を失った。

一方で、地球温暖化による影響は既に顕在化しており、今後温室効果ガスの排出抑制が進み、仮にパリ協定で定める目標を達成したとしても、気象災害のさらなる激甚化・頻発化を避けることはできない。令和6年元日には能登半島地震により、多くの人命や家屋、ライフライン等に甚大な被害が発生し、さらには、令和7年1月に埼玉県八潮市において道路陥没事故が発生するなど、国土強靱化施策の更なる加速化・深化が求められている。

我々は、平成30年7月豪雨災害の経験から、県民の生命・財産を守り、速やかな復旧・復興が可能な強靱な地域を造っていくためには、災害発生後の事後対応ではなく、事前の対策が極めて重要であることを思い知らされており、二度とこのような惨禍を繰り返さないためにも、国土強靱化の取組を今後より一層強力に推進していくことが不可欠である。

これらを踏まえ、下記事項について、万全の措置を講じられたい。

記

一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策を上回る規模で策定された「国土強靱化実施中期計画」の推進に当たっては、南海トラフ地震等への必要な対策が、切れ目なく、着実に講じられるよう、今後の資材価格等も踏まえた必要な予算を確保すること。

一、本県の高規格道路等のネットワークは、南海トラフ地震発生時に本州から四国各地への生命線となるなど、県内のみならず中四国地方における広域支援のための人の移動や物資輸送を担い、復旧・復興に大きな役割を果たすことから、未整備区間の解消によるシームレス化及び暫定2車線区間の4車線化、ダブルネットワーク化による災害時のリダンダンシー確保の早期実現のほか、空港・港湾等の交通拠点へのアクセス向上等を計画的かつ着実に推進させるために必要な予算を確保すること。

一、令和6年能登半島地震や令和7年八潮市の事故等を踏まえ、緊急輸送道路等の道路防災対策や道路橋梁、河川・海岸施設、上下水道、住宅や沿道建築物等の耐震化・老朽化対策、都市内道路の無電柱化を着実に進めるために必要な予算を確保すること。

一、平成30年7月豪雨災害など、気候変動に伴い気象災害が激甚化・頻発化する中、治水安全度等の着実な向上を図るため、流域治水の考え方を踏まえた治水対策、土砂災害防止対策及び高潮対策、また、南海トラフ地震により生じる津波への対策が着実に推進できるよう、必要な予算を確保すること。

一、港湾施設は、大規模災害時に陸上ルートが遮断された場合等にあっては、代替となる海上輸送を担うとともに、サプライチェーンの途絶を防ぎ、経済活動の継続を支えることから、国際拠点港湾水島港のさらなる機能強化のために必要な予算を確保すること。

一、人口減少・少子高齢社会が進行する情勢の中、中心市街地の空洞化や市街地の拡大等が問題となっていることから、地方の都市及び地域拠点のコンパクト化とそれらを結ぶ道路ネットワークの構築や、地域の特性、都市間相互の機能分担を考慮した、計画的、総合的な社会基盤の充実と防災機能を含む持続可能なまちづくりの推進に必要な予算を確保すること。

一、「防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債」について、「実施中期計画」に位置付けた対策を対象とするとともに、令和7年度末に期限を迎える「緊急自然災害防止対策事業債」について、引き続き、地方自治体の財政負担を軽減し、効果的に防災・減災対策に取り組めるよう、期限を延長すること。

一、令和5年8月15日に来襲した台風第7号は、岡山県北部に記録的な豪雨をもたらし、多くの公共土木施設が被災し集落が孤立した。国土交通省による「TEC-FORCE」（テックフォース）の派遣、資機材供与等の災害支援が早期の復旧活動の礎となっており、引き続き災害支援を含む地方整備局等の人員・体制の充実と地方自治体との連携強化を図ること。

以上、決議する。

令和7年7月31日

岡山県

岡山県議会

岡山県市町村

岡山県市町村議会